



# 白聖はくあ 第3号 令和3年6月24日発行



## 《志望校を決める重要性とは》

### 【目標→対策という流れ】

そもそもなぜ、志望校を決める必要があるのでしょうか。例えば、「志望校という具体的なゴールがないと、それに向かって頑張ることができないから。」というのは志望校を決める理由としては想像しやすいと思います。

確かに、受験という長期的な闘いにおいてその目標が明確でない場合、モチベーションの維持ができなくなる可能性はあります。中には、「明確な志望大学が無くても、とりあえずいろいろな大学に受かるほどの実力をつけておいて、直前期に受ける大学を選べば良い。そのほうが志望校を1つに絞り込むよりも可能性が広がるはずだ」と考える人もいるかもしれません。ここで具体的な例を挙げてみましょう。東京大学と東京工業大学は偏差値で比較すると大差はないですが、受験制度や出題内容とその傾向などに決定的な違いがあります。

東京大学の選抜方法としては、大学入学共通テストの成績（900点を110点に換算）と第2次学力試験の成績（440点）の総合点及び調査書の内容となります。また、第2次学力試験においては、理系でも国語があったり、英語で英作文やリスニングが課されたりするという特徴があります。

#### (1) 実施期日

科 類	試 験 日 (※1)	時 間	教 科 等
文科一類 文科二類 文科三類	令和3年2月25日(木)	9:30~12:00 (150分)	国 語
		14:00~15:40 (100分)	数 学
	令和3年2月26日(金)	9:30~12:00 (150分)	地 理 歴 史
		14:00~16:00 (120分)	外 国 語
理科一類 理科二類 理科三類	令和3年2月25日(木)	9:30~11:10 (100分)	国 語
		14:00~16:30 (150分)	数 学
	令和3年2月26日(金)	9:30~12:00 (150分)	理 科
		14:00~16:00 (120分)	外 国 語
理科三類	令和3年2月27日(土)	9:00~17:00頃	面 接

科 類	教 科 等	科 目 等
理科一類 理科二類 理科三類	国 語	国語総合、国語表現
	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B (※1)
	理 科	「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」の4科目のうち、あらかじめ出願の際に届け出た2科目 (※2)
	外 国 語	(1) 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, コミュニケーション英語Ⅲ) ※ 一部マークシートに解答する問題があります。また、聞き取り試験 (20~30分程度) を行います。 (2) ドイツ語 (3) フランス語 (4) 中国語 のうち、あらかじめ出願の際に届け出た1外国語 ただし、英語の選択者に限り、英語の問題の一部分に代えて、他の外国語 (ドイツ語、フランス語、中国語、韓国朝鮮語) のうちから一つの外国語を試験場において選択することができます。なお、ここで選択できる外国語のうち、ドイツ語、フランス語、中国語の問題は、出願時に当該外国語を選択した者が解答する問題の一部分と同じものです。
理科三類	面 接	個人面接 (※3)

一方、東京工業大学では、大学共通テストの成績については第1段階選抜にのみ使用されます。第1段階選抜に合格した者に対して、第2段階選抜として個別学力検査が実施され、個別学力検査の成績及び調査書の内容を総合して合格者を決定します。また、個別学力検査の特徴としては、数学と理科 (物理・化学) が英語の倍の配点となっています。

#### (2) 第2段階選抜

第1段階選抜に合格した者に対して、個別学力検査を実施します。

##### ア 試験科目

数学、物理、化学、英語の4科目

【注1】 個別学力検査を1科目でも受験しない者は、不合格となります。

【注2】 個別学力検査当日は共通テスト受験票及び本学前期日程受験票を必ず持参してください。

##### イ 試験日程と時間

試験日	令和3年2月25日(木)		令和3年2月26日(金)	
	科目及び試験時間	数学 9:30~12:30 (180分)	英語 14:00~15:30 (90分)	物理 9:30~11:30 (120分)

##### ウ 配点

科目	数 学	物 理	化 学	英 語	合 計
配 点	300	150	150	150	750

##### エ 試験内容

科 目	科 目 内 容	必須・選択の別
数 学	「数学Ⅰ」、「数学A」、「数学Ⅱ」、「数学B (数Ⅰ、ベクトル)」、「数学Ⅲ」を、その総合問題や応用問題を含めて、「数学」として出題する。	必 須
物 理	「物理基礎」、「物理」を合わせて『物理』として出題する。	必 須
化 学	「化学基礎」、「化学」を合わせて『化学』として出題する。	必 須
英 語	「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」を合わせて『英語』として出題する。	必 須

〔図表は令和3年度入試募集要項から引用。第2次学力試験と個別学力検査は、両方とも個別学力試験の前期日程のことである。〕

これまでの説明から、大学に合格するための力は学力だけではないということが分かってもらえたでしょうか。志望校に合わせた対策を立てることがとても重要になってきます。各大学の偏差値は合格の難易度を表す一つの指標となりますが、絶対的なものではありません。また、入試の制度上、国立大学の前期試験は1校しか受験できません。志望校を決定する重要性とは「志望校に合わせた対策を立てること」であり、「目標→対策」という流れを自分自身でしっかりと作ることが大切なのです。

## 【ワクワクする高い目標を立てる】

大学には、日本全国のみならず世界各国から様々な学生が集まっていて、自分がそれまで持っていなかった価値観や能力を持つ人との出会いの中で、多くの刺激を受けます。たった一人との出会いや一つの講義によって、自分のその後の人生が変わるということも珍しくはありません。「将来の夢」を持つことも大切ですが、それ以上に自分自身の「憧れ」を意識して志望校を決めてみてください。もし憧れる大学がないという場合は、可能な範囲で大学のオープンキャンパスに参加してみましょう。最近ではオンラインによる大学説明会も増えてきました。まずはインターネットを活用して様々な大学について調べ、ここだ！と思った大学に足を運んでみたり、対面式のオープンキャンパスに参加するのも一つの手です。



## 【現時点の身の丈に合わせる必要はない】

憧れをもとに志望校を決めたときに、「自分には難すぎて本当にいけるのか」と懐疑的になる人や、「周りの目が気になってしまう」という人もいるかもしれません。しかしその必要はありません。

特に1年生や2年生のみなさんは、志望校選びに現時点での実力を考慮して志望校を諦める必要は全くありません。自分が本当に行きたいと思う大学があるのであれば、その志望校を「揺るぎない志望校」として目標にしましょう。

もし今の自分のままで難しいと思うのであれば、まずは行動を変えていきましょう。例えば、朝起きる時間を少し早くする、スマートフォンを触る時間を減らすなど、学習時間を少しずつ増やす工夫をすればいいのです。平日の家庭学習の時間が3時間であれば、まずは30分増やす努力や改善を行う。その+30分を当たり前にしていき「習慣化」することができたらさらに+15分を当たり前にしていき「習慣化」していく。これを繰り返して実践してみましょう。ここで注意して欲しいことが一つあります。学習時間の確保はあくまで「手段」の一つとして重要なことであり、「目的」ではありません。「目的」は自身の学力を向上させ、自分自身でできることを増やしていくということです。そのために必要な手段が「学習時間の確保」となります。

人は自分自身で考え、行動し、習慣化することで、少しずつ確実に、時には急激に成長できます。現時点での身の丈に合わせた目標であれば「安心感」は得られますが、今はそれよりも、ワクワクできる高い目標を設定し、「自分の身の丈を、高い目標に届くまで成長させる」ことに力を注いでいきましょう。

試行錯誤を繰り返し、時には悩み・苦しんだ末に、目標を自分自身の力で手に入れた時の達成感は、皆さんのこれからの人生における自信となり、糧となることでしょう。



## 《進路行事について》

### 【1・2学年 学びみらいPASS解説会】

正しい進路選択と進路志望達成に向けて、学びみらいPASSの結果を踏まえて職業選択・進路選択について考える機会としました。



## 《1学期末考査について》

6月28日(月)～7月1日(木)に実施されます。定期考査はこれまで学習した内容が定着しているかを確認する絶好の機会となります。授業で学んだ[知識・技能]の確認とそれに基づく基本的な思考力・判断力があるかどうかをみます【習得レベル】。さらに、授業で学んだ[知識・技能]を複合的に組み合わせ、因果関係などを[思考・判断]し、それを的確に表現する発展的な力をみます【活用レベル】。各自で計画的に学習に取り組んで頑張りましょう。